



もっとつながる。未来が動き出す。

2024年度 第2四半期（中間期）決算について

（2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信補足資料）

2024年11月1日

西日本旅客鉄道株式会社

1. 決算概要

<連結決算>

(単位：億円、%)

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	対前年		2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比率		増減	比率
営業収益	7,699	8,113	414	105.4	17,180	829	105.1
（うち運輸収入）	4,071	4,346	274	※ 106.7	8,870	464	105.5
営業利益	1,062	1,047	△ 15	98.6	1,700	△ 97	94.6
経常利益	984	985	1	100.1	1,555	△ 118	92.9
親会社株主に帰属する 中間純利益	671	697	25	103.8	1,000	12	101.3

※運輸収入対コロナ前比(2019年比):95.9

■ 決算のポイント

1. 概要

- ・ご利用回復及び北陸新幹線の敦賀延伸効果等により、**4期連続の増収・純利益は4期連続の増益**
- ・**営業利益は、大阪プロジェクト開業に伴う経費増等により、4期ぶりの減益**

2. セグメント

- ・**モビリティ業、流通業**は、ご利用の回復や敦賀延伸効果、インバウンド需要増等により、**増収増益**
- ・**不動産業**は、不動産販売の増があったものの、大阪プロジェクト開業に伴う経費増等により、**増収減益**
- ・**旅行・地域ソリューション業**は、前年コロナ関連受託事業の売上が減少し、**減収減益**

■ 業績予想

- ・2024年度の**業績予想**は、概ね想定の範囲内で推移していることから、8/1公表の予想を**据え置き**

■ 株主還元

- ・予定していた約**500億円の自己株式の取得を完了**(11/15消却予定)
- ・**年間配当は**、当該自己株式の取得及び消却後の株式数を踏まえ、1株あたり72円から**74円に増配**

2. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	対前年		主な増減要因	2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	7,699	8,113	414	105.4	【4期連続の増収】	17,180	829	105.1
モビリティ業	4,656	4,960	303	106.5	運輸収入の増	10,375	510	105.2
流通業	962	1,022	59	106.2	物販飲食業の増	2,015	44	102.3
不動産業	1,021	1,138	117	111.5	不動産賃貸販売の増、S C業の増、ホテル業の増	2,375	197	109.1
旅行・地域ソリューション業	950	865	△ 85	91.0	受託事業の減	2,130	69	103.4
その他	108	127	19	117.9		285	6	102.3
営業費用	6,636	7,065	429	106.5		15,480	927	106.4
営業利益	1,062	1,047	△ 15	98.6	【4期ぶりの減益】	1,700	△ 97	94.6
モビリティ業	705	750	44	106.3	運輸収入の増	1,200	55	104.8
流通業	67	76	8	113.1	物販飲食業の増	120	△ 10	91.8
不動産業	212	202	△ 10	95.3	ホテル業の減、S C業の増、不動産賃貸販売の増	350	△ 56	86.1
旅行・地域ソリューション業	65	0	△ 65	0.6	受託事業の減	15	△ 63	19.1
その他	5	15	9	279.5		30	△ 12	70.9
営業外損益	△ 78	△ 61	16	-	支払利息の減	△ 145	△ 21	-
経常利益	984	985	1	100.1	【4期連続の増益】	1,555	△ 118	92.9
特別損益	△ 3	25	28	-	固定資産売却益の増	△ 50	172	-
法人税等	284	303	19	106.8		455	46	111.5
親会社株主に帰属する 中間純利益	671	697	25	103.8	【4期連続の増益】	1,000	12	101.3

3. 各セグメントの主な増減要因

(単位：億円、%)

		2023年度 中間期	2024年度 中間期	対前年		主な増減要因	
				増減	比率		
モビリティ業		営業収益	4,656	4,960	303	106.5	・鉄道のご利用回復、インバウンドの増
		営業利益	705	750	44	106.3	
流通業	物販・飲食	営業収益	843	897	54	106.5	・駅構内店舗売上の増
		【再掲：宿泊特化型ホテル】	[99]	[115]	[16]	[116.4]	・客室平均単価の増
		営業利益	60	67	7	111.8	
	【再掲：宿泊特化型ホテル】	[12]	[20]	[8]	[165.6]		
	百貨店	営業収益	112	116	4	103.9	・免税売上の増
		営業利益	7	8	1	116.3	
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	546	624	78	114.3	・投資家向け販売の増
		【再掲：不動産販売】	[273]	[320]	[47]	[117.4]	
	営業利益	111	115	4	103.9		
	【再掲：不動産販売】	[22]	[25]	[2]	[112.6]		
	ショッピングセンター	営業収益	289	309	20	106.9	・新規開業を含むSC売上高増による賃料収入の増
		営業利益	53	63	9	118.7	
	ホテル	営業収益	180	199	18	110.4	・客室平均単価の増、大阪ステーションホテル開業
		営業利益	1	△ 19	△ 20	—	・大阪ステーションホテル開業に伴う経費増
旅行・地域ソリューション業		営業収益	950	865	△ 85	91.0	・コロナ関連受託事業の反動減
		営業利益	65	0	△ 65	0.6	

※各セグメントの内訳は、主要子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

4. 単体損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	対前年		主な増減要因	2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	4,561	4,861	300	106.6	【4期連続の増収】	9,920	477	105.1
運輸収入	4,071	4,346	274	106.7		8,870	464	105.5
運輸附帯収入	76	76	△ 0	99.4		155	△ 4	97.3
関連事業収入	139	144	5	103.6		280	△ 4	98.4
その他収入	273	295	21	107.9	会社間清算の増	614	22	103.7
営業費用	3,789	4,036	246	106.5		8,720	431	105.2
		うち構造改革△170				うち構造改革△380		
人件費	953	1,029	75	108.0	賞与の増	2,055	10	100.5
物件費	1,860	1,967	106	105.7		4,595	298	106.9
動力費	319	300	△ 19	93.9	燃料単価の減	600	△ 0	99.9
修繕費	590	622	31	105.3		1,660	78	105.0
業務費	949	1,044	94	110.0	会社間清算の増 WESTER関連経費の増	2,335	220	110.4
線路使用料等	133	179	45	134.3	北幹敦賀延伸による増	355	82	130.5
租税公課	215	224	8	104.0		400	5	101.3
減価償却費	626	636	9	101.6		1,315	34	102.7
営業利益	771	825	53	106.9	【4期連続の増益】	1,200	45	103.9

5. 運輸収入及び輸送人キロ

運輸収入

(単位：億円、%)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ、%)

			2024年度 中間期	対前年		対コロナ前 (2019年比)	2024年度 通期予想	対前年		2024年度 中間期	対前年		対コロナ前 (2019年比)
				増減	比率			増減	比率		増減	比率	
新幹線	山陽	定期	57	2	105.4	108.0	-	-	-	459	27	106.4	105.2
		定期外	2,009	116	106.2	96.5	-	-	-	8,686	47	100.6	88.5
		計	2,066	119	106.1	96.8	4,270	215	105.3	9,146	75	100.8	89.2
	北陸	定期	9	4	209.0	210.7	-	-	-	65	35	220.1	210.6
		定期外	371	178	193.1	173.5	-	-	-	1,198	587	196.0	174.4
		計	380	183	193.5	174.3	780	357	184.4	1,264	623	197.2	176.0
	定期		66	7	113.3	116.0	-	-	-	525	63	113.8	112.2
	定期外		2,380	295	114.2	103.7	-	-	-	9,885	634	106.9	94.1
計		2,447	303	114.2	104.0	5,050	572	112.8	10,410	698	107.2	94.8	
在来線	近畿圏	定期	546	12	102.4	92.0	-	-	-	8,622	125	101.5	87.2
		定期外	963	55	106.1	94.7	-	-	-	5,091	177	103.6	88.5
		計	1,509	67	104.7	93.7	3,050	107	103.6	13,714	303	102.3	87.7
	その他	定期	104	△ 8	92.8	82.8	-	-	-	1,734	△ 125	93.3	80.9
		定期外	284	△ 89	76.2	64.9	-	-	-	1,448	△ 423	77.4	65.2
		計	388	△ 97	80.0	68.9	770	△ 215	78.1	3,183	△ 549	85.3	72.9
	定期		650	4	100.7	90.3	-	-	-	10,357	0	100.0	86.0
	定期外		1,247	△ 33	97.4	85.7	-	-	-	6,540	△ 246	96.4	82.0
計		1,898	△ 29	98.5	87.3	3,820	△ 108	97.2	16,897	△ 246	98.6	84.5	
合計	定期		717	12	101.8	92.2	-	-	-	10,882	63	100.6	87.0
	定期外		3,628	261	107.8	96.7	-	-	-	16,425	388	102.4	88.9
	計		4,346	274	106.7	95.9	8,870	464	105.5	27,308	452	101.7	88.1

6. 運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2024年度 中間期					
		対前年		主な増減要因			
		増減	比率				
新幹線	山陽	2,066	119	106.1%	基礎トレンド(100.0%)		
					特殊要因	・移動需要の回復	+105
						・昨年災害反動	+9
						・インバウンド需要の増	+5
・本年災害影響	△ 23						
等							
北陸	380	183	193.5%	基礎トレンド(100.0%)			
				特殊要因	・北陸新幹線敦賀延伸	+180	
					・昨年災害反動	+1	
等							
新幹線計	2,447	303	114.2%				
在来線	近畿圏	1,509	67	104.7%	基礎トレンド(100.0%)		
					特殊要因	・移動需要の回復	+58
						・インバウンド需要の増	+13
						・北陸新幹線敦賀延伸	△ 4
・本年災害影響	△ 9						
等							
その他	388	△ 97	80.0%	基礎トレンド(100.0%)			
				特殊要因	・移動需要の回復	+18	
					・インバウンド需要の増	+1	
					・本年災害影響	△ 2	
・北陸新幹線敦賀延伸	△ 116						
等							
在来線計	1,898	△ 29	98.5%				
運輸収入計	4,346	274	106.7%				

※ 荷物収入は金額些少のため省略

7. 設備投資

(単位：億円、%)

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	対前年		2024年度 通期計画
			増減	比率	
連結設備投資計	849	902	53	106.3	—
自己資金	810	882	71	108.8	2,940
負担金	38	20	△17	53.3	—
単体設備投資計	519	486	△33	93.6	—
自己資金	481	465	△15	96.8	1,740
(再掲) (安全関連投資)	(285)	(276)	(△8)	(96.9)	(1,010)
(再掲) (その他)	(195)	(189)	(△6)	(96.8)	(730)
負担金	38	20	△17	53.3	—

・主な設備投資件名（単体）

車両新製（N700S・岡山近郊・やくも）、保安防災対策（地震対策）、大阪駅西側エリア開発工事等

8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2023年度 期末	2024年度 中間期	対前年	主な増減要因																																
流動資産	7,009	5,378	△ 1,630	受取手形及び売掛金の減、未収金の減																																
現金及び預金	2,334	1,157	△ 1,176																																	
棚卸資産	1,606	1,914	307																																	
その他の流動資産	3,068	2,306	△ 761																																	
固定資産	30,789	30,627	△ 161																																	
有形固定資産等	25,572	25,864	292																																	
建設仮勘定	1,226	984	△ 241																																	
投資その他の資産	3,989	3,778	△ 211																																	
繰延資産	1	-	△ 1																																	
資産計	37,800	36,006	△ 1,794																																	
流動負債	7,101	6,186	△ 914	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023期末</th> <th>2024中間期</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債残高</td> <td>15,634</td> <td>15,059</td> <td>△ 574</td> </tr> <tr> <td>【有利子負債平均金利(%)】</td> <td>【1.22】</td> <td>【1.24】</td> <td>【0.02】</td> </tr> <tr> <td>新幹線債務</td> <td>974</td> <td>967</td> <td>△ 6</td> </tr> <tr> <td>【新幹線債務平均金利(%)】</td> <td>【6.55】</td> <td>【6.55】</td> <td>【-】</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>8,599</td> <td>8,104</td> <td>△ 494</td> </tr> <tr> <td>【社債平均金利(%)】</td> <td>【1.01】</td> <td>【1.07】</td> <td>【0.06】</td> </tr> <tr> <td>その他長期借入金等</td> <td>6,060</td> <td>5,987</td> <td>△ 73</td> </tr> </tbody> </table>		2023期末	2024中間期	増減	有利子負債残高	15,634	15,059	△ 574	【有利子負債平均金利(%)】	【1.22】	【1.24】	【0.02】	新幹線債務	974	967	△ 6	【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】	社債	8,599	8,104	△ 494	【社債平均金利(%)】	【1.01】	【1.07】	【0.06】	その他長期借入金等	6,060	5,987	△ 73
	2023期末	2024中間期	増減																																	
有利子負債残高	15,634	15,059	△ 574																																	
【有利子負債平均金利(%)】	【1.22】	【1.24】	【0.02】																																	
新幹線債務	974	967	△ 6																																	
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】																																	
社債	8,599	8,104	△ 494																																	
【社債平均金利(%)】	【1.01】	【1.07】	【0.06】																																	
その他長期借入金等	6,060	5,987	△ 73																																	
1年内返済予定長期借入	1,384	1,554	170																																	
未払金等	5,717	4,632	△ 1,085																																	
固定負債	18,427	17,554	△ 873																																	
社債・長期借入金等	14,159	13,387	△ 771																																	
退職給付に係る負債	2,116	1,969	△ 146																																	
その他の固定負債	2,151	2,197	45																																	
負債計	25,529	23,741	△ 1,788																																	
株主資本	11,034	11,027	△ 7																																	
資本金	2,261	2,261	-																																	
資本剰余金	1,839	1,839	△ 0																																	
利益剰余金	6,946	7,437	491																																	
自己株式	△ 12	△ 510	△ 498																																	
その他の包括利益累計額	46	38	△ 7																																	
非支配株主持分	1,190	1,198	8																																	
純資産計	12,271	12,264	△ 6																																	
負債・純資産計	37,800	36,006	△ 1,794																																	

*2024年度の期首より会計方針の変更を行ったため、2023年度の各数値は当該変更による影響について遡及適用後の数値を記載しております。

9. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	対前年 増減
税引前中間純利益	981	1,011	30
減価償却費	798	819	20
その他	△ 500	△ 850	△ 349
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,279	980	△ 298
固定資産の取得による支出	△ 989	△ 1,125	△ 135
固定資産の売却による収入	2	174	171
投資有価証券の取得による支出	△ 125	△ 28	96
その他（工事負担金等受入等）	199	116	△ 83
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 912	△ 863	49
I + II フリー・キャッシュ・フロー	366	117	△ 249
資金調達	—	205	205
返済・償還等	△ 1,056	△ 806	249
株主還元	△ 185	△ 707	△ 521
その他（グループファイナンス等）	△ 1	14	16
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,243	△ 1,294	△ 50
現金及び現金同等物の増減	△ 876	△ 1,176	△ 300
現金及び現金同等物の期首残高	2,898	2,332	△ 566
連結範囲変更等に伴う 現金及び現金同等物の増減額	2	—	△ 2
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,024	1,155	△ 869

10. 各種経営指標

(単位：％、億円、人)

	2023年度		2024年度	
	中間期	期末	中間期	期末予想
連結ROA	-	4.8	-	4.6
連結ROE	-	9.2	-	9.1
連結EBITDA	1,861	3,430	1,866	3,430
連結減価償却費	798	1,633	819	1,730

	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数（就業人員）	44,829	21,481	44,366	21,314	45,304	21,532	-	-
金融収支	△ 97	△ 81	△ 191	△ 171	△ 90	△ 77	△ 184	△ 160
受取利息・配当金	4	20	9	30	6	21	10	36
支払利息	101	101	201	201	96	98	194	196

ネット有利子負債／EBITDA	-	3.9	-	-
自己資本比率	-	29.3%	30.7%	-
1株当たり当期純利益（EPS）	137.76円	202.63円	145.58円	210.67円
1株当たり純資産（BPS）	-	2,273.29円	2,352.05円	-

	2023年度		2024年度予想	
	中間	期末【年間】	中間	期末【年間】
配当の状況	57.5円	84.5円【142.0円】	37.0円	37.0円【74.0円】

*当社は、2024年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、2023年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益（EPS）」及び「1株当たり純資産（BPS）」を算定し記載しております。なお「配当の状況」における配当金額は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

*2024年度の期首より会計方針の変更を行ったため、2023年度の各指標の数値は当該変更による影響について遡及適用後の数値を記載しております。

*「1株当たり当期純利益（EPS）」の期末予想は、2024年度9月末までの自己株式の取得及び、2024年11月1日開催の取締役会において決議した自己株式の消却の影響等を考慮しております。

将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2024年11月1日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2024年11月1日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>